

# 未来志創

4/21 水

通心003(第643号)

## 変えられるのは自分だけ

本格的に授業がスタートして数日が過ぎようとしています。また、昨日は今年度最初の生徒議会・新専門委員会がありました。そして、今日は体育大会のリーダー研修会があります。部活動も仮入部期間の真っ只中ですね。様々な活動が軌道に乗り始めようとしています。今年度がスタートして2週間とは思えないほど充実した毎日になっています。

さて、2Dでの担任として2週間が経ちましたが、昨年度の皆さんのことをよく知らない分、多方面からいろいろな声が聞こえてきます。「今年は授業を最初から頑張りたい」「〇〇がちゃんと読書をしている」「昨年度よりたくさん挑戦したい」「意欲的に取り組んでいた」「授業で困っている人に、声をかけて励ましていた」「〇〇さん、変わったね」などなど…。なんでこのような言葉が聞こえてくるのでしょうか。それは、一人一人が“変わろうとしているから”です。新年度が始まったことや先輩になったといった節目をきっかけとして、「変わりたい!」つまり、「成長したい!」という気持ちが溢れている証だと思います。そんな素敵な気持ちをもつ皆さんに紹介したい話があります。

川は流れます。力強く、柔軟に。川の水は、どちらに進むべきかと尋ねたりはしません。自分ももっとも流れやすい方向へと流れていきます。途中で岩にぶつかることもあります。岩は言います。「私たちは動かない。お前のほうが動け」「いいですよ。私が向きを変えましょう」と水が答えます。岩は勝ったと思うでしょう。でも岩は、川の水の本当の力には気付いていません。

水の力、それはあきらめないことです。水は、ゆっくりと着実に岩をけずっていきます。長い長い時を経て、ふと気が付くと岩のほうが進んでいる。かつて岩があった場所を水が流れているのです。さて、最後に勝ったのはどちらでしょうか？

大きな渓谷を見ると、水の力を実感します。一途に、あきらめずに続けることで岩をけずり、もともと流れたと思っていた場所を流れている。決して動くことはないと思った岩が降参し、道を譲っている。水はその力で、強固な岩さえ砕き、砂に変えてしまったのです。

『Pot with the Hole 穴の開いた桶』(Prem Rawat)

前向きで意欲的なこの気持ちをもって日々チャレンジしていると、もれなく目の前に現れてくれるものがあります。それは“壁”です。自分の挑戦を阻むかのように現れる壁はこう言います。「あなたにこの壁が越えられるかな?」と。自分の目の前に壁が現れたら、あなたはどのようにするのでしょうか。諦める…いやいや、それは時期尚早です。壁が現れたら、むしろこう言い返したいものです。「やっと私の前に現れてくれましたか」と。

大切なことは何でしょうか。いろいろあると思いますが、その一つに「続けること」があります。壁を越えられるまで、チャレンジを継続したいものです。そしてもう一つが「自分が変わる」こと。分かっているけどなかなかできないことですが、周囲(相手や環境)に対して「なんで変わってくれないのか」と思っても、変えることはできません。変えられるのは自分だけ…。

これまでの自分という壁を乗り越えるために決意したチャレンジを継続し、日々成長していく中で“挑越”していけるといいですね。